

bethel hospice letter spring

ホスピスだより

tender loving care vol.29

松山ベテル病院 緩和ケア病棟

〒790-0833

松山市祝谷6丁目1229番地

TEL 089 (925) 5000

FAX 089 (925) 5599



医療法人 聖愛会

松山ベテル病院

<https://www.bethel.or.jp>



<With コロナ～緩和ケア病棟での活動>



コロナ終息の見通しは未だ立たず、with コロナ時代がまだまだ続きそうな今、私たち緩和ケア病棟では悩みながらではありますが少しずつ前進しています。この数年でコロナ禍での患者さま・ご家族の方へのケアについては随分、スタッフ皆成長し対応できるようになったと感じています。

現在も原則面会禁止中ではありますが、face to faceの重要性を捉え、窓越し面会やリモート面会でタイムリーに顔を見ることが出来る喜びを患者さま・ご家族に感じて頂けるようケアに取り組んでいます。またボランティアコーディネーターとチャプレンを中心に週2回お茶会を開催していましたが、コロナ禍に伴い、現在は各お部屋へティーサービスという形でケアを提供させて頂いています。ボランティアさんは人数を制限し、感染対策に留意して頂きながらご協力頂いています。患者様が少しでもホッと出来る時間がもてるようにスタッフ一丸となって頑張っています。



病棟のキッチン風景



ボランティアコーディネーターの森さんと佐々木チャプレンが中心になって提供してくださっています。



患者さま・ご家族に料理していただいたり、お茶会・ティーサービスで活躍しています。

提供されるティーサービス

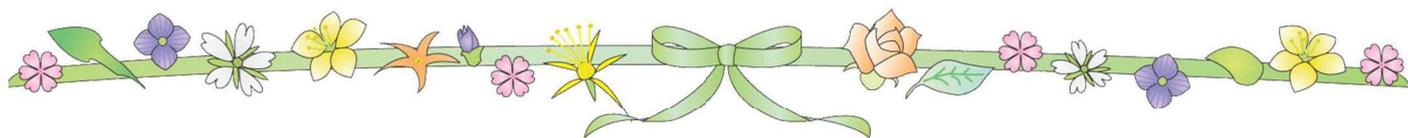


出来立てを患者さまにお届けしています♪



感染対策に留意しながら使用しています。

お茶会が中止されているため、ティーサービスを楽しみにされている患者さまが沢山おられます。



今号では趣味を大切に、自分らしく過ごしている患者さまをご紹介します。

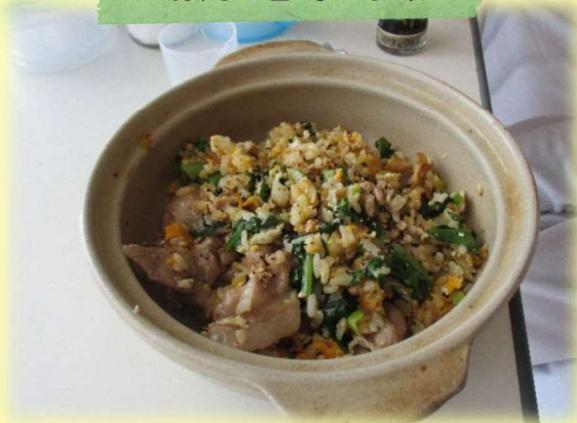
Aさんは料理が好きで、オリーブオイルやはちみつなどの調味料を持参されていました。私たちスタッフにも簡単なレシピを教えてくださいたり、他の患者さまには時短でできるぜんざいを振舞っていただきました。

Aさんは「お孫さんと一緒に何か思い出作りをしたい！」との思いを持たれていました。料理が趣味ということもあり、娘さんたちからそれなら「料理と一緒にしたい！」とのリクエストがありました。病棟にはキッチンがあり、感染対策を徹底し、炒飯、ポテトサラダ、カレーライス、フライドポテトなどを作っていました。

1回目はお一人で！2回目、3回目は娘さんとお孫さんと一緒に！人数はご家族3人までとし、お互い不織布マスクの着用、手洗い・消毒の徹底、料理後の会食はしないということを約束していただき、患者さま・ご家族の思いを実現することができました。

とても和やかな雰囲気を感じ、企画・実現できたことに私たちも達成感を味わうことができました。自由にできないことは多いですが、今後も患者さまが少しでもほっこりできるお手伝いさせて頂きたいと思っています。

豚肉と春菊の炒飯



ポテトサラダ



カレー作り



フライドポテト



Aさんが料理を好きになったきっかけについて
教えてくださいました！

初めて作った料理はカレー。母親が呉服を縫っていて手が離せず、
夕食が食べられなかったので作った。それ以降は料理をした記憶はないが独身時代、
単身時代にフライパン1本でおかずを作ったことがあった。(すき焼きや茶わん蒸しなど)

40歳すぎて、高知から転勤してきた上司から色々教わった。魚と一緒に釣ろうと誘われて、
釣りは退職してからでもいいと思っていたが、魚釣りを始めるなら「今だ！」と言われ教わった。
魚が釣れたら、3枚おろし、刺身、煮つけ、焼き魚などの料理をし、新鮮で美味しかった。それか
らはNHKの今月の料理、テレビ放送の料理を作って食べた。おせちにも挑戦したが大変だった。

<衣・食・住>ここでAさんおすすめのレシピメモをいただいたのでご紹介します！！

食べることが一番！！ご飯のお供を作ってみましょう。

材料はイタドリと鶏肉です。イタドリは3月～5月頃に
山で取っておきましょう。それが美味しいご飯のお供になります。

イタドリの根元は1.5センチぐらいで立派で軟らかいのを米袋いっぱい取りましょう。
持ち帰って包丁で皮を優しく剥きましょう。45℃の湯につけて剥くと上手く剥けますよ。次
にそれを一口大に切り、多めの塩で一晩つけます。水が上がりますので水を切り、冷凍庫で
を凍らせます。

ご飯のお供を作る時に1回分のイタドリを解凍します。解凍する時にえぐみが水に溶け
出し使用できます。水でよく洗い水気を拭き取ります。フライパンでイタドリと鶏肉を別々
にサラダ油を入れて炒めます。

鶏肉とイタドリを一緒にして、酒、和風だしを入れ、砂糖、醤油で甘辛く味付けをします。
イタドリは蓋ごたえを残し火を消します。冷ましたらご飯のお供の出来上がりです。

お酒のあてに、ご飯のおかずにとっても美味しいですよ！！

イタドリを
そのまま
かじったら
酸っぱいよ！

【イタドリ（別名スカンボ）】

- ・タデ科の多年生植物。
- ・山野や道端、土手などのいたるところで群生し、草丈は1.5(m)ほどになる。
- ・雌雄別株で、夏から秋に細かい白花を咲かせる。春先の若芽は食用になる。

職員が久万高原町で
採集してきたイタドリです。





<癒しのガーデン>

病棟のガーデンには四季折々の花が咲いています。この場所はコロナ前とは変わらない癒しの空間です。これはボランティアさんが毎日の水やりや四季に応じた新しいお花を植え替えてくださり、思いを込めてお世話をしてくださっているおかげです。ガーデンはお散歩コースの人気No.1 の場所で車椅子やベッドでお散歩に来ることができます。お散歩に行くと「わあ〜！！お花がキレイね〜！」と患者さまの顔がほころびます。私たちスタッフもとても癒されています。散歩に行つて外の空気を吸うだけでもとても気持ちがよく、そこにお花があることで癒され、相乗効果だといつも感じています。

病室には一人一人花瓶にお花を生けており、その花が枯れたら、ガーデンにお花を摘みに行き、新しいお花を生けています。その他にも、病棟の至る所にお花を生けてあり、目で楽しんで頂いています。これもボランティアさんたちがお花を届けてくださり、キレイに生け直して下さっているおかげです。

春になり、これから沢山のお花が咲き、ガーデンもベストシーズンを迎えます。患者さまには春の陽気ときれいなお花、私たちスタッフの笑顔もお届けし、癒しの空間になったらいいなと思います。



ストック



ビオラ



葉牡丹、ノースポール



ラナキュラス



ガーデンの花たち



サクラソウ



テラス席
椅子とテーブルがあり、
ゆっくりお話できる空間に
なっています。
見晴らしも良く四季折々の
風景を楽しめます。



ボランティア募集しています！

病室へのティーサービスにご奉仕くださる方、病棟のお花やベランダの園芸のお世話をしてくださる方、こもれびの森のお手伝いをしてくださる方、チャペルでのレクリエーションにご協力くださる方等々。

※心身ともに健康な方で、定期的・継続的に活動いただける方の
問い合わせをお待ちしております。

TEL : (089) 925-5000

FAX : (089) 925-5599

E-mail : volunteer@bethel.or.jp

(ボランティア委員会 担当：森)

ホスピス献金をお願いします！

ホスピス献金は、緩和ケア病棟等の援助など、聖愛会の諸活動の
援助の為に聖愛会に寄付としていただいております。
皆さま方の温かいご支援をお願い申し上げます。



★現金送金★

〒790-0833 松山市祝谷 6 丁目 1229 番地
松山ベテル後援会 (松山ベテル病院内)

★郵便振替口座★

口座番号：01610-2-25364

名義：松山ベテル後援会



※「ホスピス献金」として献げる旨と「金額」をご記入ください。

編集後記

先日からティーサービスと並行して、お茶会も人数制限・時間制限をしながら再開しました。感染対策の都合上以前のようにはいきませんが、私たちも久しぶりに患者さまと一緒に
お茶会に参加して、デイルームから患者さまとボランティアさんたちの話し声や笑い声
を聞いているとやっぱり良い時間だと思いました。

コロナ禍である今だからこそ、人と触れ合う時間や空間の大切さを身に沁みて感じるひと
ときでした。引き続き感染予防対策をとりながら、少しずつコロナ禍前のように患者さま
に楽しみをもって入院生活を過ごして頂けるようにスタッフ一同考えてまいります。

また新たなスタッフが加わり新年度がスタートしました。これからもホスピス便りを通
して、病棟の様子をお伝えしていきますのでよろしくお願いいたします。

和田 太田 若松 野村